

日本禁煙学会の対外活動記録 (2023年10月～12月)

- 10月 2日 日本禁煙学会HPに「[タバコ消費量]が減っているのに「肺がん」の死亡率が上がっているのは本当か」を掲載致しました。
- 10月28日～11月26日 第17回日本禁煙学会学術総会開催(オンデマンド配信、11月11～12日オンラインディスカッション、神奈川)
- 10月31日 日本禁煙学会HPに「Plastic Treaty」を掲載致しました。
- 11月 3日 第38回認定試験(10/21福島)合格者を掲載致しました。
- 11月 7日 2023年第13回禁煙CMコンテストの結果発表と総評を掲載致しました。
- 11月 7日 2024年第14回禁煙CMコンテストの公募を掲載致しました。
- 11月13日 日本禁煙学会HPに「[加熱式タバコ]に新たな健康リスク、「心血管疾患」と関係がー石田雅彦さんのブログ」を掲載致しました。
- 11月15日 2023年の世界タバコ産業干渉指数が出版されました。日本はビリから3番目です。
- 11月22日 日本禁煙学会HPに「日本政府はなぜ「タバコ産業からの干渉や影響」を排除できないのか」を掲載致しました。
- 12月 1日 日本禁煙学会HPに「炎上する「喫煙所」問題：喫煙者がタバコを吸える場所はどこか(石田雅彦さんのブログより)」を掲載致しました。
- 12月 4日 世界ノータバコデー5/31 YG色ライトアップキャンペーンの取り組み事例のご紹介(更新)
- 12月11日 第39回認定試験(11/26東京)合格者を掲載致しました。
- 12月16日 松沢成文参議院議員からの要請で、「JTIのロシアからの撤退署名」にご協力願います。
- 12月21日 日本禁煙学会HPに「[加熱式タバコ]の詭弁：「有害物質低減」は「健康リスク低減」ではない(石田雅彦さんのブログより)」を掲載致しました。

〈編集後記〉

2020年から猛威を振るって世界を混乱させてきた新型コロナが、日本では今年2023年5月より感染症法上の「2類相当」から季節性インフルエンザなどと同じ「5類」に移行し、社会的には徐々にコロナ禍以前の状況に戻りつつあるところです。一方、実質コロナよりもはるかに多い犠牲者を出し続けているタバコについては、加熱式タバコの流行の兆候が顕著になってきており、バレニクリンの出荷停止の影響を受けた禁煙外来の減少、受動喫煙対策に取り残された集合住宅や個人住宅の問題がクローズアップされるなど予断を許さない状況にあります。

さて、日本禁煙学会雑誌第18巻は、今年も多くの方々のご協力により第5号まで発刊することができました。貴重な論文を投稿頂いた皆様に厚く感謝申し上げます。第18巻は、原著論文8編、資料1編、調査報告3編を、そして第1号から第5号までのすべてで巻頭言を掲載させて頂きました。

第18巻に掲載された原著について個人的な感想を述べさせて頂くと、第18巻第1号小林淳子先生の「母子保健施策を活用した妊娠期から育児期にある母親の喫煙・禁煙行動の縦断的調査」は2022年学術総会(大阪)優秀演題賞の発表演題ですが、私も大変重要なテーマと思っている妊婦の再喫煙問題に関するもので興味深く、神奈川学会の母子保健部会プログラムでもディスカッションされたテーマでもありますが、ぜひ続報が届くことを期待したいです。第2号加藤千洋先生の「動機づけ面接研修会参加後に助産師が抱いた妊婦禁煙指導に対する認識～調査票による自由記載の分析～」は着眼点が素晴らしいと思いました。同号の松浪容子先生の「現業員による生活保護受給者への禁煙支援に関するツールの有効性の検討」は喫煙率の高い生活保護受給者に対する新たな視点でのアプローチで大変貴重な研究であり今後の発展に期待したいと思います。同号の藤原直子先生の「中学生への心理教育授業が喫煙や依存に対する認識に及ぼす影響：オンラインによる実践」は、2021年度日本禁煙学会調査研究事業助成の助成対象演題ですが、禁煙教育前後の効果を比較した研究はよくありますが、

本研究は効果が見事に現れておりとても素晴らしいと思いました。第3号安達聖雛先生の「都道府県別の禁煙相談薬局割合と喫煙率との関係」は大変面白い視点のご研究です。第4号松浪容子先生の「生活保護現業員における禁煙支援に関する学習機会の実態と禁煙支援ツールに対するニーズ」は先の第2号誌原著の続報となるものでさらに具体的方法の有効性に踏み込んだ研究でこの問題への以前からの筆者の並々ならぬ熱意を感じます。同号近藤宏樹先生の「香川県における喫煙防止教育の効果検証 —アンケート調査を用いた後ろ向き研究—」は小中学生の喫煙防止教育の効果を理解度からみた研究で、有効性が証明された教材が香川県のホームページで公開されて誰でも使えるところも素晴らしいです。第5号長谷川景太先生の「肝散加陳皮半夏および加味逍遙散はニコチン依存モデルマウスにおけるニコチン離脱時の攻撃性の誘発を抑制する」は本誌では珍しい動物実験のご報告ですがニコチン離脱症状に応用が期待できる結果となっております大変興味深いです。

11月には第17回日本禁煙学会学術総会が、神奈川県医師会の菊岡正和会長を大会長に、禁煙・受動喫煙防止活動を推進する神奈川会議の加濃正人会長を実行委員長に、WEB主体のハイブリッド形式で開催されました。多くの魅力あるプログラムで大成功のうちに幕を閉じましたが詳細はホームページや本誌第18巻第3号および第5号の加濃正人先生による巻頭言をご覧ください。コロナ禍になってここ数年、学術総会はオンラインのみまたはハイブリッド形式で開催されてきましたが、次回2024年の米子の大会は現地のみとなる予定で久々にたくさんの仲間と直接会えることが楽しみです。

さて、私事ですが創立時から任につかせて頂いておりました編集委員を今年度で辞する予定です。禁煙会誌は現在(株)クバプロにより編集・web雑誌化がされていますが、創刊号(2006年11月1日)から第4巻第1号(2009年2月1日)まではその時の編集委員長が論文を集めて査読に回し、最終的に私の方で編集、web掲載をさせて頂いておりました。その関係で学術的な身分でもないのにこれまで編集委員の末席に名を連ねさせて頂いていたわけですが、今回本来の論文査読や編集に精通した相応しい方に代わりたいと思います。今後もこの禁煙会誌に貴重な投稿をどしどしお寄せ頂き、ますます発展していくことを祈りながら筆を置きたいと思います。ありがとうございました。

(編集委員会 山岡雅顕)

〈第18巻査読者一覧〉

日本禁煙学会雑誌第18巻の発行に際しまして、下記の方々に論文査読のご協力を賜りました。ここにお名前を挙げさせていただき、篤く御礼申し上げます。

お名前(五十音順)

相澤政明、石井正和、稲垣幸司、加藤正隆、川合厚子、栗岡成人、川寄有紀、姜 英、
久保田聡美、佐竹晃太、三瓶舞紀子、瀬在 泉、谷口治子、土井たかし、戸張裕子、
橋本洋一郎、原田隆之、細見 環、松崎道幸、村田千里、山岡雅顕

日本禁煙学会雑誌はウェブ上で閲覧・投稿ができます。
最新号やバックナンバー、投稿規程などは日本禁煙学会ホームページ <http://www.jstc.or.jp/> をご覧下さい。

日本禁煙学会雑誌編集委員会

●理事長	作田 学	
●編集委員長	山本蒔子	
●副編集委員長	吉井千春	
●編集委員	稲垣幸司	川根博司
	川俣幹雄	佐藤 功
	鈴木幸男	瀬在 泉
	高橋正行	野上浩志
	蓮沼 剛	細川洋平
	山岡雅顕	(五十音順)

日本禁煙学会雑誌

(禁煙会誌)

ISSN 1882-6806

第18巻第5号 2023年12月28日

発行 一般社団法人 日本禁煙学会

〒162-0063

東京都新宿区市谷薬王寺町 30-5-201 日本禁煙学会事務局内

電話：03-5360-8233

ファックス：03-5360-6736

メールアドレス：desk@nosmoke55.jp

ホームページ：http://www.jstc.or.jp/

制作 株式会社クバプロ